

都鳥

長唄

全詞章

作詞者不詳

〔本調子〕 たより来る、船の内こそ床しけれ、君なつかしと都鳥、いくよかここに隅田川
往来の人に名のみ問はれて

花の風、水にうかれて面白や

河上遠く降る雨の、はれて逢ふ夜を待乳山、あふて嬉しきあれ見やしやんせ、

翅かはしてぬる夜は、いつしか更けて水の音

思ひ思ふて深見草、結びつ解いつ、乱れあふた夜もすがら、はや後朝の鐘の声

にくやこれなく明くる夏の夜